

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

| | | | |
|----------------|----------------|------------|--------------|
| ○事業所名 | 療育センター アルテ 1st | | |
| ○保護者評価実施期間 | | 2025年3月14日 | ～ 2025年3月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 31 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | | 2025年3月14日 | ～ 2025年3月24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 専門職員が常駐しているため、お子様それぞれに合った個別リハビリを受けることができます。 | お子様一人ひとりに合った計画書の作成・訓練を行っています。 | 同じようなニーズを持ったお子様に合わせて集団でのリハビリも行っています。 |
| 2 | 長時間のご利用が可能。 | 11:30～17:30でのご利用が可能で、昼食介助や学習なども行っており、生活リズムを作ることが出来ます。 | 学校生活で必要となる自立支援なども行っています。 |
| 3 | お子様に合わせて、楽しめるプログラムを毎日日々替わりで組んでいます。 | 「小さいお友達と大きいお友達」「手先を伸ばすお友達・体を動かすお友達」のように活動状況に合わせて複数のプログラムを立てニーズに合わせて充実した活動内容を提供できるように工夫をしています。 | しっかりと座る、お話を聞くなど要素を持ったプログラムを実施し学校生活でも活用できるように汎化ができることを目指して支援を行っています。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 小学生のお子様については、宿題を希望されたい場合、集団での活動への参加が難しくなる場合がある。 | ご利用時間や送迎での遅延等の理由で、プログラムの関係上、活動への参加が難しくなる、または宿題を実施できないことがある。 | 宿題をすべて終わらせるのではなく、時間設定を行い、活動へ参加できる時間を設ける。 |
| 2 | 吹田の交通量が多い場所に事業所が位置しているため、送迎時に時間のズレが生じてしまう。 | 交通量の多い時間帯と送迎時間とがかさなってしまうこと。 | 距離と実際にかかる時間を想定して、出発時間を考えて取り組むことが必要。 |
| 3 | 職員の人数の関係により、常にお子様一人ひとり1対1での関りが難しい。 | 人員配置基準の関係上。 | 主に活動などでは、生活年齢や発達年齢に合わせたグループ分けを行い、お子様にストレスがかかりにくくなるような環境設定を行う。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 療育センターアルテ1st

公表日 2025年 5月 1日

利用児童数 31名

回収数 10名

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|----|---|--------|-----------|-----|--------|-----------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 40% | 20% | 0% | 40% | 小学生にはスペースが狭い気がします。外遊びがあればいいと思います。 | 発達年齢によって複数の部屋にお子さんを分けて少人数で活動などを行っています。 ですが活動性が大きくなる年長や小学生には狭く感じる事があるかもしれません。そのため、座った状態での鬼ごっこを行うなどしてしっかりと身体を動かしたと感じる事が出来る工夫を行います。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 33.30% | 11.1 | 0% | 55.60% | 体制が変更になってからの人員がわからなくなっている。 | 職員の人数につきましては、配置基準にのとった人員配置を行っております。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 80% | 0% | 0% | 20% | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 70% | 10% | 0% | 20% | 靴下が汚れている時がある。 | 感染症対策の為季節を問わず窓を開け換気を行っています。近くに小学校があり、小学校のグラウンドから巻き上がる砂塵などの影響で床が汚れているものと思われます。砂埃により対策として掃除機をかけ、水拭きを行っていますが一日活動を行いますと汚れが析出てしまいます。お子様につきましては、現在施設内では素足で過ごされていますが足裏が汚れてしまう事がありますのでご帰宅前に足の裏をウエットティッシュ等で汚れの拭き取りを行っております。 |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 80% | 10% | 0% | 10% | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 80% | 10% | 0% | 10% | 責任者が変わってから連絡事項等の伝達が取りづらくなっている。 | ご不便をおかけして申し訳ありません。新体制に移行した影響などでご連絡対応に遅れや不備がございました。体制が徐々に安定しておりますので以前のように連絡伝達を行う事が出来るともいます。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 90% | 0% | 0% | 10% | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 20% | 10% | 30% | 40% | | |

| | | 公表 | 保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス） | | | | |
|----------|----|--|-------------------------------|--------|--------|--------|--|
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 80% | 20% | 0% | 0% | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 80% | 20% | 0% | 0% | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 20% | 20% | 20% | 40% | |
| | 15 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 80% | 20% | 0% | 0% | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 80% | 0% | 0% | 20% | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 11.10% | 44.40% | 11.10% | 33.30% | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 90% | 10% | 0% | 0% | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 非常時等の対応 | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 90% | 0% | 0% | 10% | |
| | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 50% | 20% | 0% | 30% | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 60% | 20% | 0% | 20% | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 満足度 | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 80% | 0% | 0% | 20% | |
| | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 90% | 10% | 0% | 0% | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 60% | 30% | 0% | 10% | 申し訳ありません。1stでは、リハビリ実施に重点を置くために現在外遊びは行っておりません。ご理解いただけますようお願い致します。 |

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

| | |
|------|--------------|
| 事業所名 | 療育センターアルテ1st |
|------|--------------|

公表日 2025年 5月 1日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---------|----|---|---------|--------|--|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 83.30% | 16.70% | お子様の興味や発達年齢によって複数の部屋にお子さんを分けて少人数で活動などを行っている。 また、活動性が大きくなる年長や小学生には狭く感じる事があるかもしれません。そのため、座った状態での鬼ごっこを行うなどしてしっかりと身体を動かしたと感じる事が出来る工夫を行いスペースを有効に使用しています。 | 年長・小学生には狭く感じる。 |
| | 2 | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 66.70% | 33.30% | | 2名以上当日職員が休むと難しい時がある。 |
| | 3 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 50.00% | 50.00% | 建物の構造上玄関のバリアフリー化が難しい。車いすの利用などで玄関からの入室が難しい場合には歩道につながる窓にスロープを設けている為そちらからの入室を行つう予定です。 | バリアフリー化の点では、玄関を改善した方が良い。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 66.70% | 33.30% | | |
| | 5 | 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100.00% | 0.00% | | 改善するともっと良くなると思う。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 83.3% | 16.70% | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 83.3% | 16.70% | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 50.00% | 50.00% | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100.00% | 0.00% | | |

| | | 公表 | 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス） | | |
|----------|----|--|---------------------------|--------|--|
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 83.3% | 16.70% | 朝礼時に前日の振り返りと共に気になるお子さんの情報共有を行っておりま。また常にお子さんがいる状況の為会議を行う事が難しいため書面による聞き取りと回答を行い理解を進められるよう意識しています。 時間が少なく、深くまで話し合いができていない。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 19 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 83.3% | 16.70% | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 100.00% | 0.00% | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 100.00% | 0.00% | |

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

| | | | | | |
|----|--|---------|--------|--|-------------------|
| 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 50.00% | 50.00% | 必要がある場合は密に連絡を取り合い情報を交換して連携支援を行える体制を取っています。また事業所のグループ内に訪問看護を設けておりご家族の許可を頂き、必要に応じて情報交換を行っています。 | 機会は少ない。 |
| 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 83.3% | 16.70% | | |
| 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 33.30% | 66.70% | 個人情報保護の観点から保護者、小学校からの依頼で情報共有や情報提供を行っております。7年度は情報共有のご依頼はありませんでした。 | 保護者様を通しての情報共有が多い。 |
| 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 50.00% | 50.00% | ご利用者が未就学～小学校低学年の方が中心の為情報提供をする対象者が存在しません。 | 全員は出来ていない。 |
| 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 50.00% | 50.00% | 保護者のご希望や相談支援員さんの勧めでスーパーバイズを受けています。 | 事業所内で完結してしまう。 |
| 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。 | 33.30% | 66.70% | ご利用のお子さんが幼稚園や保育所を終了してから利用される方が多いこともあり施設に出向いての交流はありません。屋外で活動する際に地域のお子さんと一緒に過ごす機会がある為外出した際には地域のお子さんと関わりが持てるように意識しています。 | 交流の機会は少ない。 |
| 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 33.30% | 66.70% | | |
| 34 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 66.70% | 33.30% | | |

| | | | | |
|----|---------------------------|--|--|--|
| 公表 | 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス） | | | |
|----|---------------------------|--|--|--|

| | | | | | | |
|----------|----|--|---------|--------|---|-------------------------|
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 83.3% | 16.70% | 契約時にや報酬改定時に説明を行ったり報酬改定の情報を提示しています。その際ご質問がある方には個々に対応しております | 運営形態の問い合わせがあり、説明不足を感じる。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 66.70% | 33.30% | | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100.00% | 0.00% | | |

| | | | |
|----|---------------------------|--|--|
| 公表 | 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス） | | |
|----|---------------------------|--|--|

| | | | | | | |
|---------|----|--|---------|--------|--|--|
| 非常時等の対応 | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 16.70% | 83.30% | | |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100.00% | 0.00% | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 83.3.% | 16.70% | | |
| | 54 | 虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。 | 83.3.% | 16.70% | | |
| | 55 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100.00% | 0.00% | | |